

# INVESTORS GUIDE 2022

KUNIMINE INDUSTRIES CO., LTD.

# 資源を科学して未来のニーズを創造、 産業の発展、社会インフラ整備に貢献

当社グループは「経世済民」の経営理念を掲げ、1943年の創業以来、貴重な地下資源であるベントナイトの採掘・製造・販売を軸に、自動車、産業機械、建設、石油、農薬、ペット関連分野をはじめ、様々な産業分野に事業展開し、業界のリーディングカンパニーにまで成長してまいりました。また、昨今においては、福島復興関連事業や低レベル放射性廃棄物処理事業をはじめ、社会インフラ整備に貢献しております。

これからも「未来のニーズの創造」に向け、新商品開発や市場開拓を通じて顧客の創造を図り、環境・循環型社会への貢献を促進し、中長期での高付加価値経営を実現してまいります。

株主・投資家の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

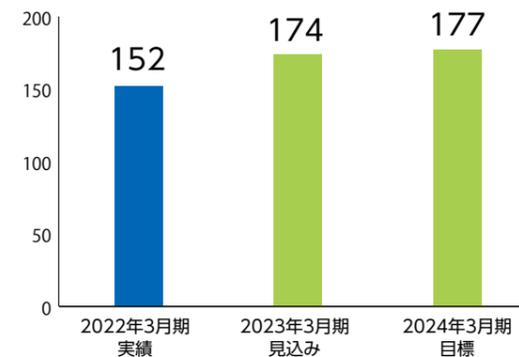
代表取締役社長 勢藤 大輔



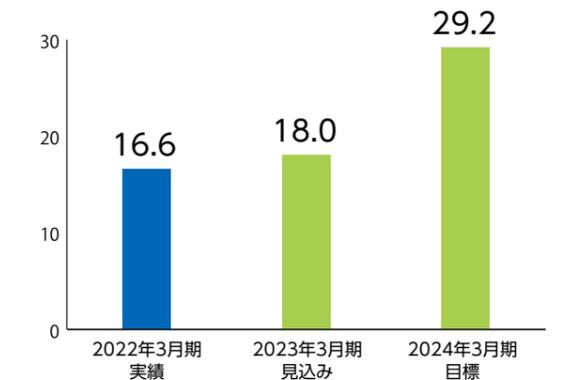
## 業績サマリー



売上高 (2022年3月期) **152** 億円



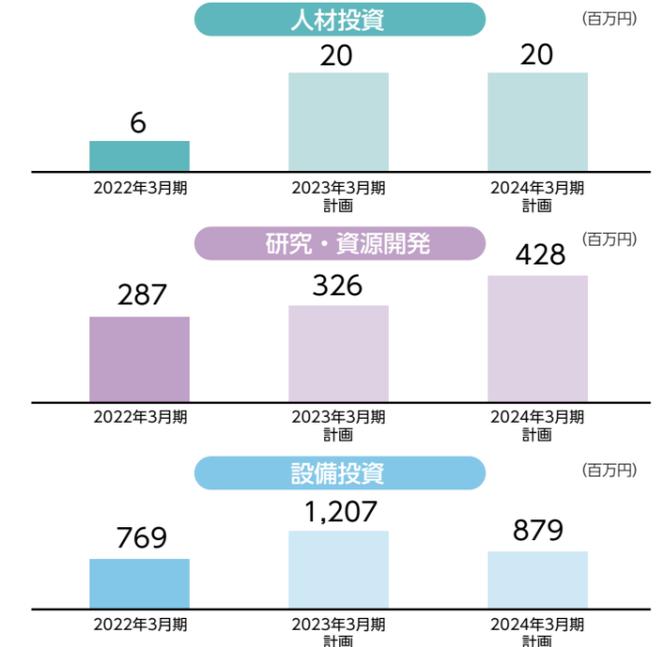
営業利益 (2022年3月期) **16.6** 億円



## 投資政策



## 投資計画の推移



# 暮らしの中のクニミネ工業



## ベントナイト事業部門

### ● 鑄物分野

自動車や産業機械の部品となる鑄物を造るための鑄型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鑄型は生産性に優れたものであり、多くの鑄物生産に用いられています。鑄物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鑄物砂分析などを通じて歩留まりの改善など、お客さまの様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

今後も国内はもとより、成長が期待される海外市場においてもKUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD.を通じて東南アジアへ進出する日系企業との連携を強め、海外ユーザーへの対応に注力してまいります。



世界鑄造会議 (World Foundry Congress) に出展



様々な種類のベントナイト

#### 主力商品

- クニゲルVAS
- クニボンドTY
- ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ
- 「クニボンドTY」シリーズ

### ● 土木分野

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、一般廃棄物処分場での遮水工事等、広くベントナイトが使用されています。今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資源掘削等のポーリング需要も期待されます。更には、低レベル放射性廃棄物処理用途へも、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れたベントナイトのニーズが高まっております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内インフラ整備事業への継続的な取り組みに加えて、復興関連や地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。



場所打ち杭(アースドリル工法)の現場

#### 主力商品

- クニゲルV1
- クニゲルV2
- クニゲルGS
- クニゲルGT
- クニゲルU
- クニキャップTG
- クニシール
- クニシート

### ● ペット分野

ベントナイトの持つ高い吸水性と粘結性を活かしたペット用トイレ砂製品に参入して40年近く経ちました。近年はペットに対する飼い主様の意識も大きく変わり、もはやペットは生活を豊かにする家族の一員であるとの認識に変わってきております。そのような飼い主様の意識変化の中、当社グループはペット用トイレ砂中心の事業から、ペットとの生活やペットの健康など幅広い領域でペットと飼い主様のニーズを実現するため「家族皆が幸せでいられますように!」というコンセプトを新たに設定いたしました。そんな思いから、ペット、飼い主様共に喜んでいただける安心・安全な「天然ジビエペットフード」を発売いたしました。素材には駆除された害獣を使用し、それらの命を無駄にしないという社会的責任も、開発を始めたひとつの要因となっております。

これからも、ペットとその飼い主様が笑顔になれるような商品やサービスを提供し続けてまいります。



天然ジビエペットフード

#### 主力商品

- |   |  |
|---|--|
| <b>ペレットタイプ</b><br>●猫砂1番超消臭 ●猫砂1番大粒<br><b>破碎タイプ</b><br>●猫砂1番 ●猫砂1番金印 | <b>細粒タイプ</b><br>●猫砂1番消臭+エコ<br><b>天然ジビエペットフード</b><br>●ジャーキー ●パウチフード |
|---|--|

## アグリ事業部門

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農業加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農業メーカーなどから農業の加工を受注しています。

農業業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーション\*を防止する管理体制や葉害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足の上を目指してまいります。

\*クロスコンタミネーション(交叉汚染):製造過程で農業製品同士が混じり合うこと

#### 主力商品・サービス

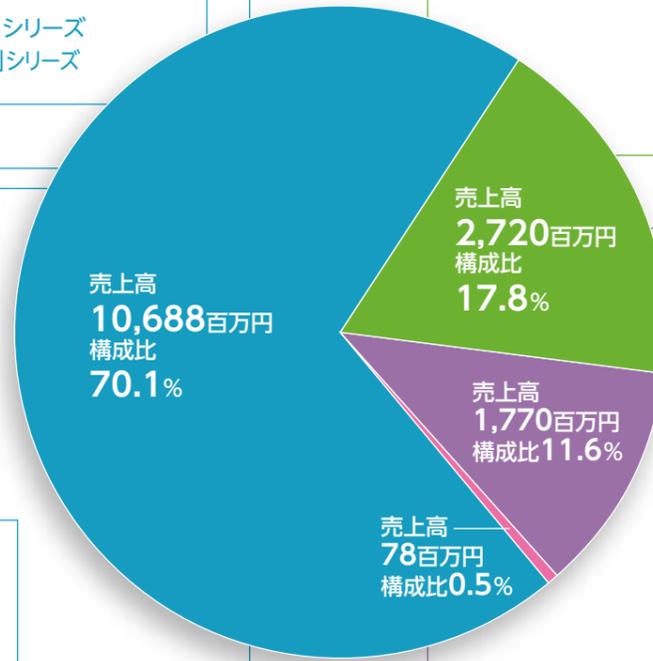
- 農業受託加工
- 農業キャリアー(基剤)
- クレー細粒剤
- クニゲルV1
- 天竜
- フロアブル製剤用原料
- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ



自動包装設備



X線検査装置



## 化成事業部門

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。合成技術によって作り出された「スメクトン」は、高粘性や高チキソトロピー性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。さらに近年は、本来粘土素材がもつ親水性質を有機溶媒にも使用できるように改質した「親油化スメクトン」も市場から高い評価を得ており、樹脂フィラーなどへ適用幅がさらに広がっています。

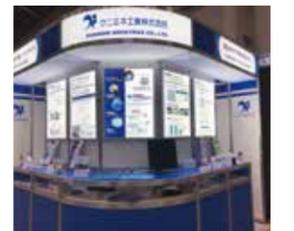
注目されるガスバリア機能分野では、2021年10月にJAXA宇宙探査イノベーションハブにおいて、当社提案の「月面で使用可能な軽量の酸素遮蔽コーティング材料の開発」が研究テーマとして採択されました。同年12月より、共同研究を開始しております(JAXA/産総研と当社の3機関連携)。

#### 主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 環境保全処理剤



JAXA宇宙探査イノベーションハブ



nano tech 2022に出展

## ライフサイエンス部門

生命を事業領域とする当事業部では、既存事業として「飼料添加物」「食品添加物」用途への展開を行っています。「飼料添加物」分野においては、当社ベントナイトは、カビ毒吸着能に加えたんぱく質毒素を吸着する付加価値を有しており、飼料添加物として活用することで、畜産業界の治療から予防医療へのニーズシフトへ対応しております。これらを生産者さまに提供することで、飼料で多用される重金属の低減が可能になるなど、家畜および環境への負荷低減が期待されています。現在、環境負荷低減に向け、金属成分から生命にやさしいベントナイトへの置き換えを進めています。

また、付加価値の高い「食品添加物」や、新規分野「土壌改良」「動物医薬」用途なども、産学官連携による「オープンイノベーション」を活かした活動から新しい付加価値を創造し、順次市場に提供してまいります。

#### 主力商品

- |  |
|--|
| <b>既存分野</b><br>●飼料添加物: 畜産動物の病気予防など<br>●食品添加物: ワインの澱取り剤など<br><b>新規分野</b><br>●赤潮対策の水質浄化剤「クニボンドRT」を上市(2022年3月)<br>●土壌改良・水質浄化・動物医薬分野への応用も研究中 |
|--|



飼料添加物



食品添加物

# トップインタビュー

## Q 2022年3月期の業績についてお聞かせください

**A** 2022年3月期(以下、前期)は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に加え、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発するなど、外部環境の変化が大きい一年でございました。売上高はコロナ前の水準まで回復いたしましたが、海上運賃の高騰や急激な円安進行による輸入原価価格の大幅な上昇、各種燃料および原材料の高騰に対し価格改定が追いついておらず、利益面においては大幅に落ち込む結果となりました。

具体的な数値といたしましては、売上高は152億57百万円(2021年3月期比4.5%増)、営業利益は16億66百万円(同25.8%減)、経常利益は19億13百万円(同20.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は13億1百万円(同22.6%減)でございました。

その厳しい環境下においても、将来に向けて付加価値が高く、豊かな社会への貢献ができるよう、産学官連携を強化して新規

分野への研究開発投資を進めてまいりました。更には、コロナ禍で採り入れた新しい働き方をはじめ、各セクションにおいて生産性の向上を図ることにより、将来のコスト構造最適化を見据えた土台作りを推進いたしました。

また、人材投資の一環としてAI教育やRPA研修などデジタル人材の育成を進めるとともに、人材の安定的な確保と持続的な成長を実現できるよう、人材教育の体系化を図りました。

これらの施策はすぐに効果が発現されるものではないですが、当社の持続的な成長に欠かせない未来投資と位置付けて取り組みを強化しております。

## Q 世界的にインフレが加速しています。ロシアによるウクライナ侵攻もあり、原油も高騰しています。今後の業績に影響はないのでしょうか？

**A** 2023年3月期(以下、当期)において、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、前述したとおり様々なリスク要因が点在しております。

具体的には、サプライチェーン障害による海上運賃の高騰、米国の金融引き締め強化による対ドル円安の加速、産油国による生産調整やロシア問題から生じる原油価格の高騰、など当社にとってのコスト増加要因が当面継続すると予想されます。

これらの問題については、前期中よりお取引先様に対して価格改定のお願いをしておりますが、想定以上のコスト上昇に転嫁が追いついていないのが実情であります。当期以降においても更なる価格改定を実施させて頂き、収益の確保を図るとともに安定的に高品質の製品を供給できるよう、体制を整えてまいりたいと考えております。

## Q 東京証券取引所の市場再編ではスタンダード市場を選択されました。今後の企業価値向上に向けた事業戦略について、株主の皆様へメッセージをお願いします。

**A** はじめに、前期は中期経営計画の初年度ということでもありましたが、大幅な減益という結果になり、株主・

投資家の皆様方には大変なご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

その中においても、前述のとおり社内では中長期的な高付加価値経営を目指し、様々な取り組みを行っております。

今年4月の東証再編でスタンダード市場を選択したのも、中長期的な企業価値向上が経営の最重要課題であると認識したうえで、しっかりと地に足をつけて目の前のことに取り組んでいくことが会社として健全な成長に繋がるものと判断したことにより

ます。今後も資源を科学することを通じてベントナイトの持つ新たな可能性を見出すことに挑戦を続け、国・地域社会への貢献をはじめ、環境・循環型社会においても当社の製品、およびサービスが新たな分野で活躍できるよう精進してまいります。

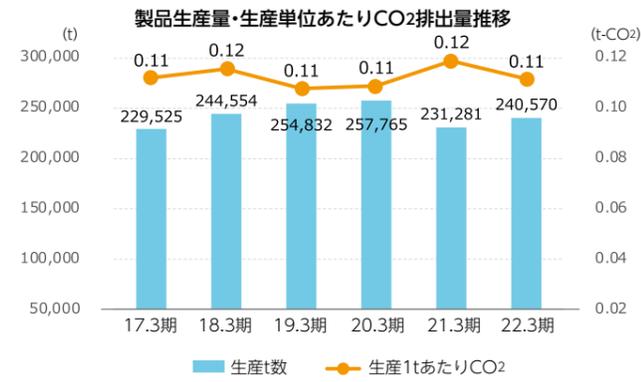
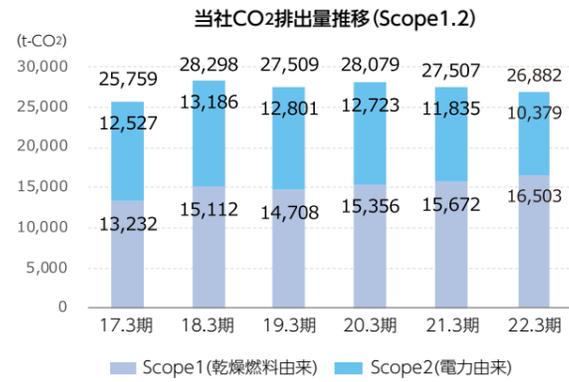
株主・投資家の皆様方におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、引き続き宜しくお願ひ申し上げます。



# サステナビリティへの取組み

## Topics1 CO2排出量の状況

### 当社グループCO2排出量の状況



- 22.3期はScope2(電力由来)の排出量が減少し、前年から625t-CO2(約2%)の排出量を削減
- 排出量の総量は減少したものの、生産量の増加に伴いScope1(乾燥燃料由来)の排出量は増加
- カーボンニュートラルの達成に向け、Scope2を中心とした削減を進めるとともに、高効率燃料への切替えを図ることで、生産単位当たりのCO2排出量削減を進めていきます。

\* Scope 1 : 製造等での燃料使用による CO2 直接排出  
 \* Scope 2 : 購入した電気の使用による CO2 間接排出  
 \* 各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

## Topics2 カーボンニュートラルに向けた取組み

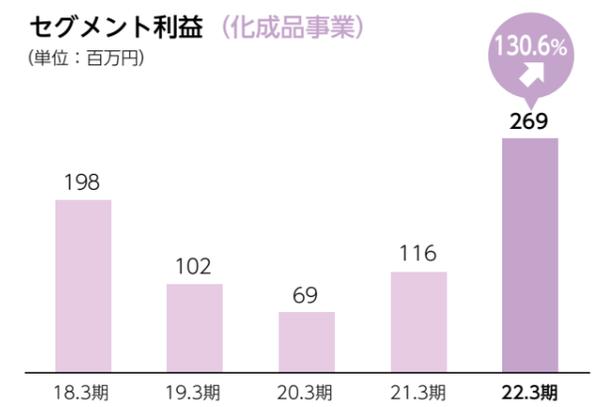
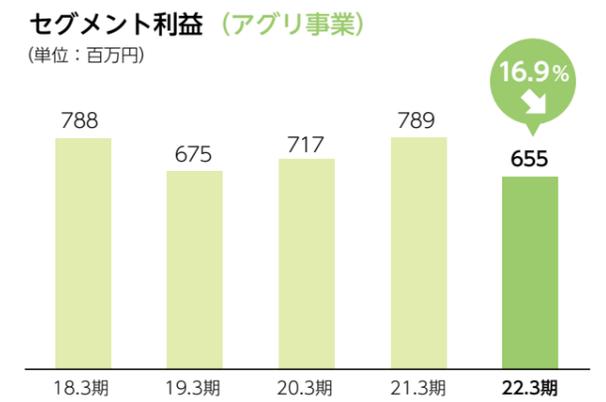
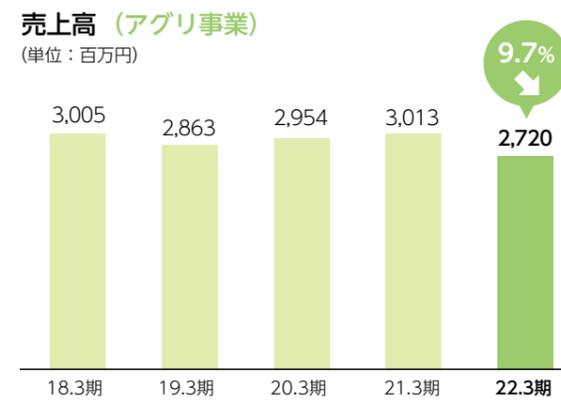
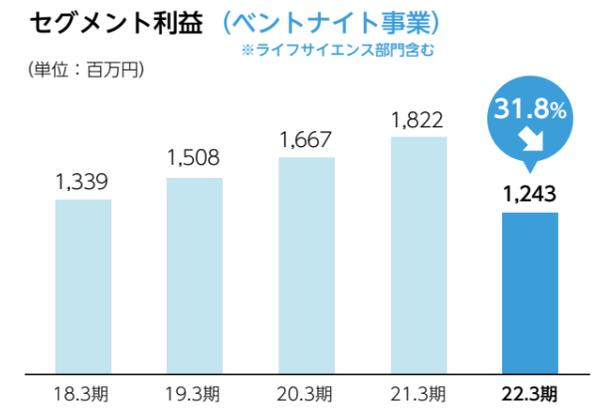
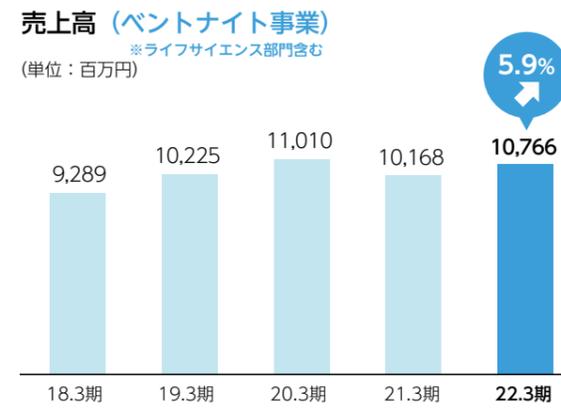
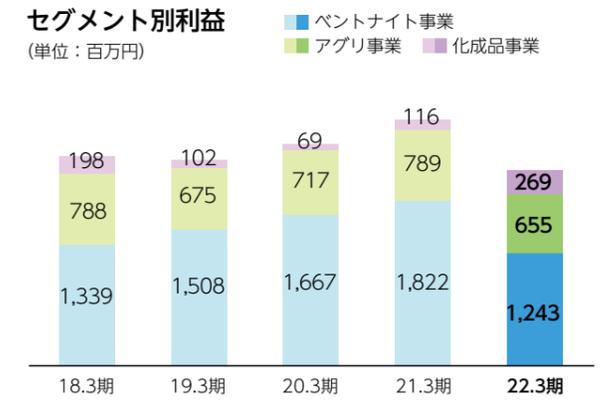
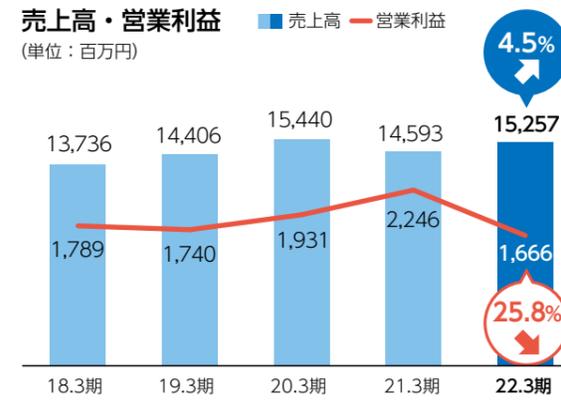


2021年10月から、当社御津工場(愛知県豊川市)で使用する電力を再生可能エネルギー由来のCO2フリー電力に切り替えました。  
 これにより、当工場の電力は再生可能エネルギー100%に切り替わり、電力使用によるCO2排出量は0(ゼロ)となります。  
 想定しているCO2削減量は、年間で▲630t-CO2を見込んでおり、当工場の排出量の約50%、グループ全体の排出量では約2%のCO2削減となります。



当社ではグループ全体で車両(社用車/フォークリフト)のEV・HV化を進めています。22.3期は蔵王工場(福島県)で電動フォークリフト(コマツ FE30)を導入し、各地域の車両も更新タイミングに合わせた切替を順次実施していきます。  
 車両のEV・HV化を進める事でCO2削減を図るとともに、従業員の環境対応の意識づけを高め、カーボンニュートラルの達成に向けて全社一丸となって取り組んでいきます。

# 財務ハイライト(連結)



- 1 **本社**  
〒101-0032  
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号  
(T.M.M.ビル3F)  
電話 03-3866-7251 (代表)
- 2 **名古屋支店**  
〒450-0002  
愛知県名古屋市中村区名駅四丁目3番10号  
(東海ビル5F)  
電話 052-587-5232
- 3 **大阪支店**  
〒532-0003  
大阪府大阪市淀川区宮原四丁目4番64号  
(新大阪千代田ビル2F)  
電話 06-6392-4581

- 4  **黒磯研究所**  
〒325-0013  
栃木県那須塩原市鍋掛1085番地454  
電話 0287-64-1981

- 5  **いわき工場・研究所**  
〒972-8312  
福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番5号  
(常磐鹿島工業団地内)  
電話 0246-44-7100

- 6  **左沢工場**  
〒990-1101  
山形県西村山郡大江町  
大字左沢782番地  
電話 0237-62-2255

- 7  **蔵王工場**  
〒989-0916  
宮城県刈田郡蔵王町  
遠刈田温泉字下田6番地  
電話 0224-34-2011

- 8  **御津工場**  
〒441-0314  
愛知県豊川市御津町  
御幸浜一ノ地1番17  
(御幸浜企業団地内)  
電話 0533-76-3107

- 9  **太田工場**  
〒313-0008  
茨城県常陸太田市増井町  
字上台166番地  
電話 0294-72-2251

- 11  **郡山工場**  
〒963-0531  
福島県郡山市日和田町  
高倉字榎田2番地1  
(郡山北部工業団地内)  
電話 024-983-9201

- 10  **小名浜工場**  
〒971-8184  
福島県いわき市泉町  
黒須野字江越246番7号  
(小名浜臨海工業団地内)  
電話 0246-56-5890

グループ会社

- 12  **クニマイン株式会社 (株式100%保有)**  
ベントナイト原鉱石の採掘、販売  
〒990-1271 山形県西村山郡大江町大字月布722番地9号  
電話 0237-64-2121

- 13  **川崎鉱業株式会社 (株式100%保有)**  
ベントナイト原鉱石の採掘、販売  
〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号  
電話 0224-84-4661

- 14  **関ベン鉱業株式会社 (株式100%保有)**  
ベントナイトの採掘、製造および販売  
〒959-4622 新潟県東蒲原郡阿賀町白崎1573番地  
電話 0254-99-2028

- 15 **クミネマーケティング株式会社 (株式100%保有)**  
ペット用品の販売など  
〒279-0001 千葉県浦安市当代島一丁目1番25号(板徳ビル3F) 電話 047-711-1761

**KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD. (株式49%保有)**  
ベントナイト製品の販売、ベントナイト用途周辺関連商材の販売など  
2 Jasmine City Building, 12th floor, Soi Sukhumvit23 (Prasarnmitr),  
Klongtoey-Nua,Wattana, Bangkok 10110, Thailand  
電話 +66-2-612-7302

**TRANS WORLD PROSPECT CORPORATION (株式71.43%保有)**  
米国ベントナイト採掘会社への出資  
2000 West Loop South, Suite 1100,Houston, TX 77027,USA



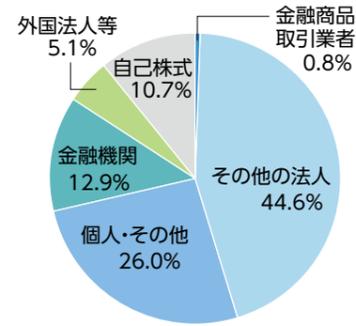
発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 14,450,000株
株主数 4,281名

大株主 (上位10名)

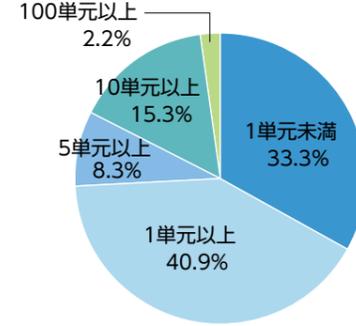
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
クニミネエンタープライズ株式会社	4,909	38.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	749	5.81
クニミネ工業取引先持株会	720	5.58
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	543	4.21
日本化薬株式会社	438	3.39
クミアイ化学工業株式会社	329	2.56
川上 悟	292	2.26
日昭株式会社	198	1.53
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	167	1.30
株式会社三菱UFJ銀行	160	1.24

(注) 持株比率は自己株式 (1,548,395株) を控除して計算しております。

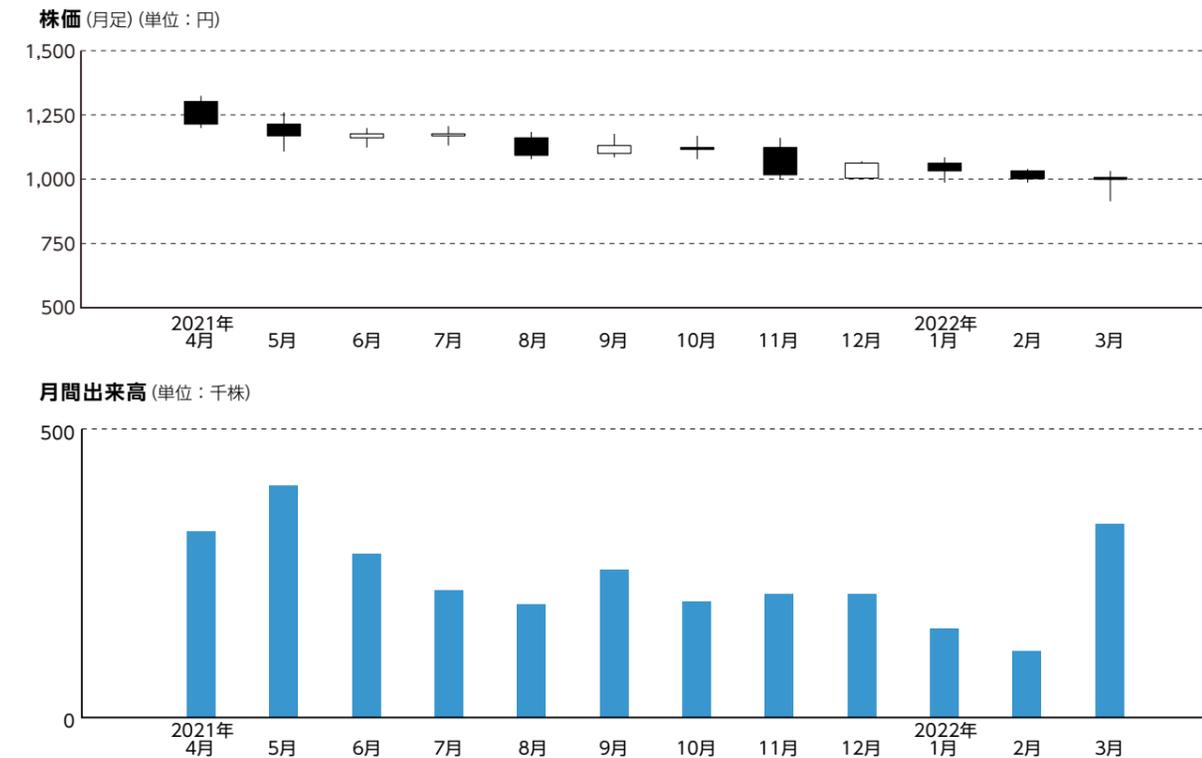
所有者別  
株式数分布状況



所有数別  
株主数分布状況



株価・出来高の推移



商号 クニミネ工業株式会社

代表者 代表取締役社長  
勢 藤 大 輔

本社 〒101-0032  
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号  
03-3866-7251 (代表)

設立 1943年(昭和18年)6月1日

資本金 16億1,780万円

従業員数 235名

会社の主な事業目的

- 鉱業
- 岩石および粘土類の採取、加工ならびに販売
- 無機・有機の工業薬品、農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品の製造・加工ならびに販売
- 食品・食品添加物、飼料・飼料添加物の製造・加工ならびに販売
- 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装置の製造・販売ならびに施工および運営
- 粉粒体・鑄造・土木用機器装置等に関連するプラントの設計・施工および運営ならびにその機器類および資材の製造販売

役員一覧 (2022年6月29日現在)

取締役 会長 (全般)	國 峯 保 彦
代表取締役社長 (全般)	勢 藤 大 輔
専務取締役 (ベントナイト営業部管掌、生産部管掌)	木 村 敏 男
常務取締役 (化成品事業部長、アグリ事業部管掌)	玉 木 悟 史
取締役 (資源開発部長、採鉱技術部管掌)	土 屋 修
取締役	鷲 巢 信 太 郎 (社外)
取締役 (常勤監査等委員)	白 石 伸 次
取締役 (監査等委員)	堀 越 孝 (社外)
取締役 (監査等委員)	赤 石 健 (社外)
取締役 (監査等委員)	原 田 崇 史 (社外)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.kunimine.co.jp/">https://www.kunimine.co.jp/</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

